

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 350 V , DC 490 V	_____	_____	
	電 流	5 A	適合ケーブル	φ8	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	4 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 1000 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的性能	コネクタの挿抜力	φ 0.991 ^{+0.003} ₀ の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.2 N 以上	○	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。但し、ロック機構を除く。	挿抜力 30 N 以下	○	—
	繰り返し動作	2000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗：8 mΩ以下	○	—
	耐振性	周波数10～55～10Hz/サイクル、片振幅0.75mm、5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、正弦半波3軸両方向各3回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①絶縁抵抗：100MΩ以上（乾燥時） ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ →常温→ +85℃→常温 時間 30 → 2～3 → 30 →2～3 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗：100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+380±10℃で3秒間ソルダーホット部へ当てる。	外観に機能を損なう変形及び著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で3秒間のはんだ付けを行う。	浸せきした表面は、ピンホール、ぬれなし、はんだはじき部分などの欠点のないこと	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
0					
備考			承認	HY. KOBAYASHI	15.11.19
			検 図	HY. KOBAYASHI	15.11.19
			担 当	KN. IKEHARA	15.11.19
			製 図	KN. IKEHARA	15.11.19
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-006812-81-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	RM12BJB-6S (81)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL109-0642-3-81	△ 1/1